

大垣養老高にフルート寄贈

大垣西濃信金と 黒田精機製作所 私募債を活用



フルートの目録を手にする田中亜弥さん(左から2人目)＝養老町祖父江、大垣養老高校

ら、フルートを寄贈することにした。

同社の黒田敏裕社長と同金庫養老支店の岡本誠支店長が同校を訪れ、3年生で吹奏楽部部長の田中亜弥さん(17)に目録を手渡した。

田中さんは「東海大会の金賞を目指して頑張って練習します」と。田中治校長も「高価な楽器をいただき感謝します」とお礼を述べた。

(藤田聡)

自動車ブレーキのピストンやエンジン部品を製造する黒田精機製作所(名古屋市)と大垣西濃信用金庫は、同社が発行した地域貢献型私募債「絆」を活用し、養老町祖父江の大垣養老高校にフルートを寄贈した。

企業の私募債発行に伴い、同金庫が受け取る手数料の一部で書籍や楽器、スポーツ用品を購入し、発行企業が指定する学校や団体に寄贈する取り組み。

同社は毎年、同校から卒業生を受け入れて